

遠隔操作で作物の不要部除去

～ ハウス栽培管理作業向け遠隔操作ロボットの開発 ～

この技術のメリット

- 立体視で臨場感ある遠隔操作
- 不要部を自動認識し、初心者でも作業OK

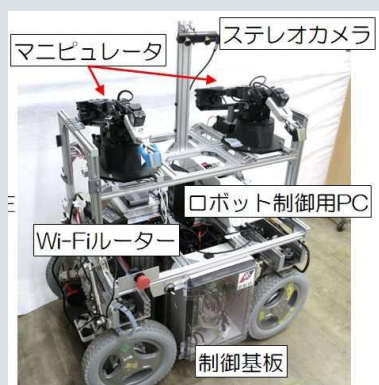


課題（背景）

- イチゴハウスでは、毎日人手で不要な葉やわき芽などを除去
- 作業の遠隔化（高温多湿環境）、さらに自動化（単調作業）が求められる

概要

- マニピュレータ2台（右腕・左腕に対応）を搭載したロボット台車を開発
- 3Dディスプレイをみながらハプティクスデバイスで直感的に遠隔操作
- ハウス内通路は自律的に走行、適宜作業者が遠隔から台車を停止し不要部を除去



遠隔操作ロボット



不要部除去の様子



AIで認識された
不要部（枯葉）

企業様へのご提案

- 完全自動化困難な作業をロボットで遠隔操作しませんか？
- プラント・工場などの定期的な巡回作業にも活用できます

詳しい研究報告



お問合せ

産業システム部 機械システムグループ